

# 中央公民館、健康福祉事務センター及び福祉会館の更新等に関する基本計画

## 小川駅西口地区市街地再開発事業公共床等の整備基本計画

### —概要版—

#### 1. これまでの経緯

市では、将来の人口減少や施設の老朽化など、公共施設を取り巻く環境の変化を見据え、公共施設マネジメントを推進しています。公共施設マネジメント推進計画に基づき、老朽化の進む中央公民館、健康福祉事務センター、福祉会館を複合化します。

また「にぎわいの創出」などを目的に、小川駅西口地区再開発ビルの4・5階と「(仮称)小川にぎわい広場」用地を取得し、近隣の西部市民センターや小平元気村おがわ東の一部の機能を移転します。これらに関する基本計画のポイントを概要版としてまとめました。



アンケート  
調査

#### 2. 市民参加の経緯

基本計画策定に当たり、多様なニーズを把握することを目的に、ワークショップ形式のカフェや利用者・利用団体ヒアリング、アンケートなどの手法を組み合わせた「中央・小川デザインプロジェクト」を展開し、市民参加で検討しました。



中央・小川  
デザイン  
カフェ  
(市民ワーク  
ショップ)

個別  
ヒアリング



中央・小川  
デザインプロジェクト

中央・小川デザイン  
カフェ、利用者・利  
用団体ヒアリング、  
アンケート、出前授  
業に関する詳細内容  
については、報告書  
にまとめています！



市内  
小・中学校  
出前授業

利用者・  
利用団体  
ヒアリング



#### 3. 事業推進の基本的な考え方

「次の時代の施設づくりを考えよう」  
をコンセプトに実施してきました！

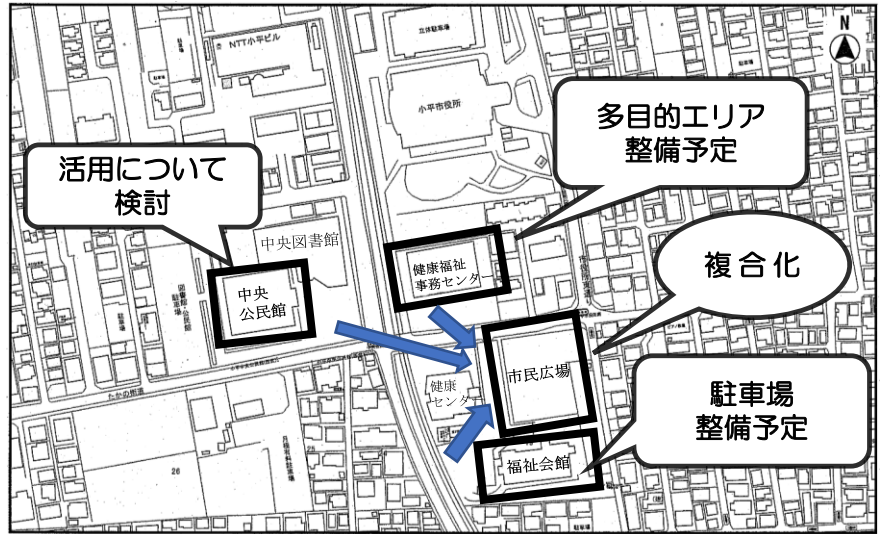
- ①複合化により、スペースの共用化、部屋の共用化・多目的化など効率的な運営を目指します。
- ②単なる合築ではなく、機能やサービスの質的融合や今後の地域コミュニティ形成の活動拠点となる施設を目指します。
- ③バリアフリー、環境、防災にも配慮した施設とします。

## 4. 複合化等の方向性

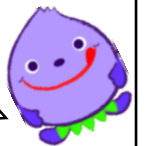
### (1) (仮称) 新建物 (中央エリア)

中央公民館、健康福祉事務センター、福祉会館は、引き続き中央エリアにあることが市民の利便性に繋がるため、(仮称) 新建物に複合化し、建設場所を福祉会館前市民広場とします。

中央エリアの複合化のイメージ図



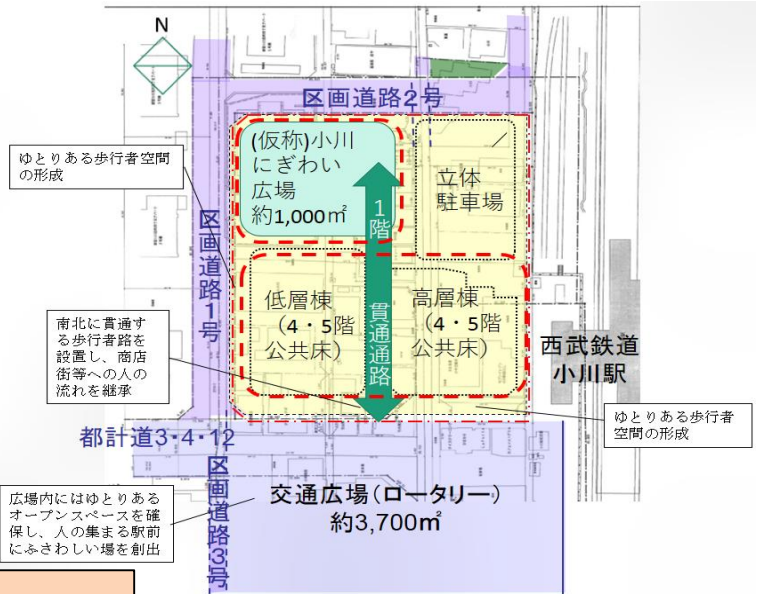
従来の利用環境にあまり大きな影響が出ないように配慮し、(仮称) 新建物の建設場所は福祉会館前市民広場とします。



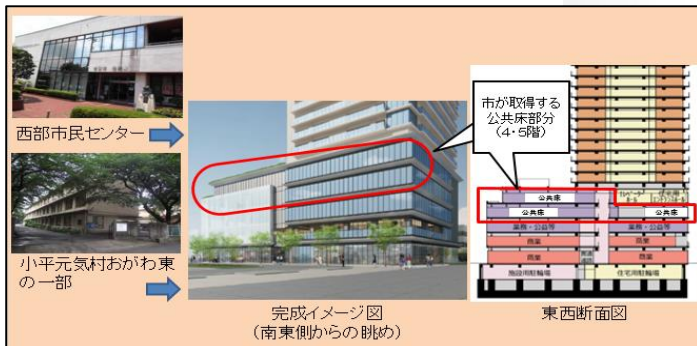
### (2) 小川駅西口公共床等 (小川エリア)

西部市民センターにある機能は、小川駅西口公共床に移転します。小平元気村おがわ東にある「市民活動支援センターあすぴあ」と「男女共同参画センターひらく」も、公民館や図書館との相乗効果をねらい小川駅西口公共床に移転します。

小川駅西口地区市街地再開発事業施設建築物配置イメージ図



小川エリアの複合化のイメージ図



次は詳細を説明します!



# 「中央公民館、健康福祉事務センター及び福祉会館の更新等に関する基本計画」個別事項



## ポイント1：（仮称）新建物のコンセプト

☞生涯学習機能、集会室機能、市の行政事務機能（健康福祉事務センターの各課）を複合化することにより、市民の多様な活動や交流が地域活動の解決に繋がるような施設を目指します。

## ポイント2：施設の機能

☞複合化により目的の異なる機能が同一建物に配置されるため、動線や配置、防音などに配慮した設計にします。中央・小川デザインプロジェクトの意見を踏まえ、多世代が集い交流する場などを設置します。

## ポイント3：延べ床面積

☞小平市公共施設マネジメント基本方針での延べ床面積の縮減を踏まえて8,000㎡を上限とします。

| 【参考】既存施設の延べ床面積 |         |
|----------------|---------|
| 中央公民館          | 4,223㎡  |
| 健康福祉事務センター     | 1,624㎡  |
| 福祉会館           | 4,454㎡  |
| 合計             | 10,301㎡ |

## ポイント4：事業費

☞整備費用の試算は約44億円です。適正な事業費規模を念頭に本試算額を整備費用の目安とします。

（注…今後の建設費の上昇により変動の可能性があります。）

## ポイント5：事業手法（整備・運営）

☞（仮称）新建物の特徴を踏まえ、整備手法は従来型手法とし、運営は市が直接運営することを基本とします。

## ポイント6：跡地の用途

☞既存施設は（仮称）新建物に機能を移転した後に解体します。福祉会館跡地は駐車場に、健康福祉事務センター跡地は多目的エリアに、中央公民館跡地は民間事業者への貸付を行うなどの財産活用を検討します。

## ポイント7：スケジュール

|    | 令和元年度  | 令和2年度～令和5年度      | 令和6年度以降                    |
|----|--------|------------------|----------------------------|
| 中央 | 基本計画策定 | 基本設計 → 実施設計 → 工事 | 工事完了（予定）<br>供用開始<br>既存施設解体 |



スケジュールは変更する場合があります。

# 「小川駅西口地区市街地再開発事業 公共床等の整備基本計画」 個別事項



## ポイント1：小川駅西口公共床等のコンセプト

公共床に整備される公共施設は、生涯学習（公民館、図書館）機能のほか、市民活動支援、男女共同参画の機能を複合化することから、多世代の多様な活動が重なり合い、将来的には統合を目指していくパイロット的な施設と位置付けます。それぞれの機能は、縦割りに独立したものではなく、一体的な新しい施設となることを目指します。

## ポイント2：施設の機能

本に囲まれた居心地の良い空間や、中央・小川デザインプロジェクトの意見を踏まえ、多世代が集い交流する場などを設置します。また、小川駅西口地区再開発ビルの北西に「（仮称）小川にぎわい広場」として、1,000㎡の広場を整備します。

## ポイント3：延べ床面積

小川駅西口地区再開発ビルのうち、4・5階フロアに合計約3,450㎡を公共床として取得します。

## ポイント4：事業費

公共床の内装整備費用の試算は約9億5千万円です。適正な事業費規模を念頭に本試算額を整備費用の目安とします。

（注…今後の建設費の上昇により変動の可能性があります）

## ポイント5：事業手法（整備・運営）

小川駅西口公共床の内装等の整備については、小川駅西口地区市街地再開発事業の特殊性等を考慮した市施行とします。

## ポイント6：跡地の使途

西部市民センターは、新しい施設に機能を移転した後に解体します。跡地は売却し、今後、更新を迎える施設の整備費に充てることを基本とします。小平元気村おがわ東は、福祉的機能、教育的機能を中心に引き続き活用します。

## ポイント7：スケジュール

|    | 令和元年度  | 令和2年度～令和5年度      | 令和6年度以降                        |
|----|--------|------------------|--------------------------------|
| 小川 | 基本計画策定 | 基本設計 → 実施設計 → 工事 | 工事完了（予定）<br>供用開始<br>西部市民センター解体 |

スケジュールは  
変更する場合  
があります。



### 【お問合せ】

小平市 企画政策部 公共施設マネジメント課  
〒187-8701 小平市小川町2-1333  
TEL042-346-9557 FAX042-346-9513  
メールアドレス facility-mg@city.kodaira.lg.jp

